

市役所庁舎整備基本設計がまとまる



▲「宿場町、城下町の歴史性をモノトーン系の色彩で表現し、和風の軒庇を設け周辺施設と調和を図ります」 東側外観パース

市では、建物の耐震性や老朽化など様々な課題を抱える水口庁舎の整備について、市民ワークショップ、パブリックコメントなどでの市民の皆さんのご意見や議会の議論を踏まえ、基本構想に基づく「甲賀市役所庁舎整備基本設計」を作成しましたのでその計画概要をお知らせします。

この基本設計に基づき、今年度中に実施設計を完了し、平成27年度から新庁舎の建設に着手する予定です。

設計コンセプト

「市民と庁舎を繋ぐ四方正面の庁舎」として、「開かれた庁舎」、「どこいたくなる庁舎」、「地球環境にやさしい庁舎」、「街並みになじむ庁舎」、「甲賀らしい庁舎」の5つのテーマをコンセプトに設計を行いました。

基本設計概要

① 建物概要

- 【建設地】 現水口庁舎敷地内
- 【建築面積】 5,285㎡(駐車場等含む)
- 【延床面積】 1万6,336㎡ (既存庁舎等含む)
- 【階数】 本館…5階建(一部屋上階) 別館(既存庁舎活用)…3階建 車庫・倉庫棟…1階建

② 配置計画

新庁舎は正方形を基本に、別館(既存庁舎)と並行にコンパクトに敷地中央部に配置します。また、来庁者の利便性を考え、建物を囲むように来庁者用駐車場を設けます。

③ 断面計画

建物中央部に吹抜を設け、自然採光や自然通風を確保し、明るく開放感のある空間とします。

④ 環境計画

- 自然エネルギーを積極的に取り入れ、環境負荷の低減を図ります。
- 太陽光発電システム
- 地中熱利用空調
- 雨水利用
- LED・高効率照明
- 環境型(高遮熱高断熱複層)ガラスなど

⑤ 防災計画

防災拠点としての機能を維持するため免震構造を採用し、大地震による建物本体の損傷を防ぎます。

また、建物3階に災害対策本部室を設置するとともに、ライフライン寸断時のバックアップ機能として自家発電機や非常用給水・排水設備の設置、災害対応型ガスバルクなどを導入し、最も重要な災害発生後72時間の業務継続力を確保します。

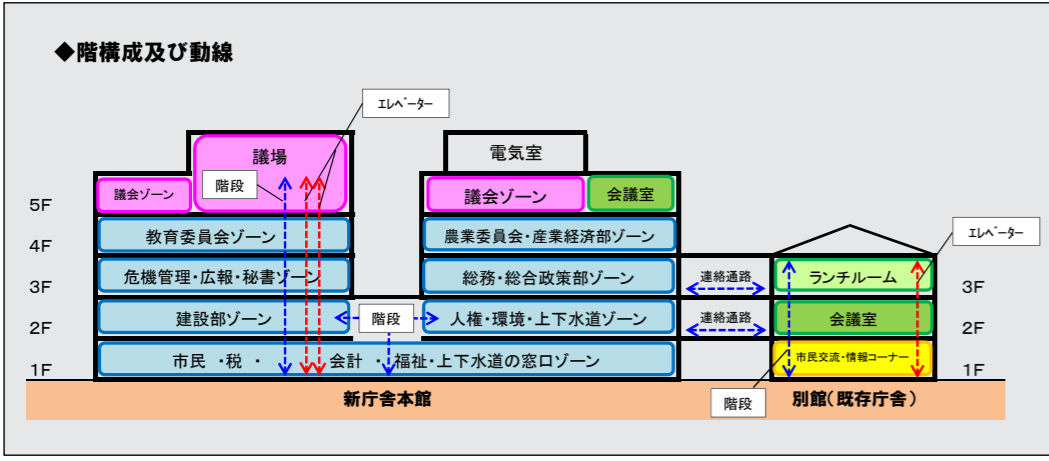


旧支所の地域市民センター

老朽化の著しい甲賀大原・信楽の各地域市民センター及び甲南庁舎について、今年度から順次具体的な整備検討を進めていきます。まずは、甲賀大原

地域市民センターについて、平成28年度整備を目的に検討を進めます。

問い合わせ
庁舎整備室
650691 / 634591
ホームページ
<http://www.city.koka.lg.jp>



⑥階構成・動線計画

市民の利用の多い、窓口部門を1・2階に配置し、中央部に吹抜と階段を設けることで、1・2階とのつながりを持たせ一体的な空間とします。2・3階に別館との連絡通路を設け円滑な利用を可能とします。

⑦ユニバーサルデザイン計画

みんなが利用しやすいよう、サインは目的に合わせ「ピクトグラム(絵文字)」や「数字・ふりがな・ローマ字」等を組み合わせ誰もがわかりやすいように計画します。多目的トイレは、オストメイト(病气などが原因で人工肛門・ぼうこうを持たれている方)対応流しやベッド、ベビーカーなどを設置します。

パブリックコメントの結果

- 募集期間 2月3日(月)～3月4日(火)
- 意見の件数等 6人、19件

市民説明会を開催

3月21日(金)・祝水口社会福祉センターで甲賀市役所基本設計(案)について、市民説明会を開催しました。

当日は、55人の市民の方々がご参加いただき活発な議論をいただきました。



※パブリックコメントなどの詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

